

就任のごあいさつ

笠松町議会議長 伊藤 功



町民の皆様には、日ごろから町議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

4月1日の笠松町臨時議会におきまして議員皆様方のご推挙により第44代議長に就任することになり、

その重責を担うことは身に余る光栄と共に、浅学非才な私は責任の重さを痛感しております。

去る3月11日午後2時46分に発生したマグニチュード9の地震による東日本大震災は、未曾有の災害となり、心を痛める日々を過ごしております。

被災された皆様へ心からのお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を切に願い、議会としましてもできることを真摯に進めていく所存です。

私どもも、この度の災害を貴重な教訓として、東海地方でも危惧される「東海・東南海地震」への防災対策は早急に考えるべき課題だと感じております。

さて、町制施行から120余年を経過した歴史と文化が漂う町「笠松町」は、偉大な先人たちが町の発展を支えてこられた証が数多く残されています。その歴史を礎に、未来に向けて新たな発展を期すべく、平成23年度からの10年間におけるまちづくりの行動指針となる第5次総合計画が策定されました。基本構想で示された6つの基本方向の「いのち輝くやさしいまち」「生涯にわたっ

て楽しく学べるまち」「人がつどう活力あふれるまち」「便利で快適な住みよいまち」「安全で安心して暮らせるまち」「共に築き上げる協働と信頼のまち」の実現に向け、行政と一体となり邁進していきたいと考えています。

第5次総合計画の初年度にあたる平成23年度は、まちの魅力は今以上に高めるためのステップの年であります。笠松みなど公園整備の完了を受けて、河川環境楽園を目指したサイクリングロード整備、木曾川橋下流のパターゴルフ場をグランドゴルフや多目的なスポーツ活動に利用できる広場への転換整備をはじめとしたまちづくりが進められると共に、福祉の充実、住民協働によるまちづくりを強力に推進し、町民の皆様が安全で安心な暮らしができるよう議会もその一翼を担ってまいります。また、私は「人間一生勉強」という思いが強く、生涯学習の更なる充実を図っていききたいと考えております。

最後に、私自身が笠松町を愛し住み続けるように、笠松町へ移り住んだ方が「なんて住みやすい町」と思われるような町にするためにも、定住を促進する施策や道徳のまちづくりの推進など、ソフトとハードの両輪での施策の充実に向けて、町民の皆様の声を聞きながら“さらに前へ”を基本に、議会と行政が一丸となってまちづくりを進めて行く所存でありますので、皆様方のご理解とご指導を賜りますようお願いを申し上げ、就任のごあいさつといたします。

第2回笠松町議会臨時会議決結果

(4月1日開会 同日閉会)

第21号議案 平成23年度笠松町一般会計補正予算について

補正額 10,797,000円

補正後歳入歳出予算額 6,348,297,000円

木造住宅耐震改修工事の申込増による交付金の増額、自動車損害賠償責任保険料が改定されたことによる保険料の増額、職員欠員による補充を嘱託員で対応するため報酬の増額などの補正。

〔提出議案はすべて可決〕

正副議長が決まりました

4月1日の臨時会において、議長と副議長の選挙が次のとおり行われました。(敬称略)

議長 伊藤 功 副議長 古田聖人



議場の風景